

学年・教科・担当者	1 年（S 組） 音楽科 澤山 早苗
-----------	--------------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	・言葉と歌声との関わり 「校歌」「夢の世界を」	言葉の特性と、その発声との関わりを理解する。 曲想や歌詞の意味を理解して歌えるようにする
	5	・ト音記号やヘ音譜表の理解と パートの役割	変声期について気付くとともに、ヘ音譜表との関わりを理解する。
	6	・創作「リズム作りにチャレンジ」	音符や休符の種類を覚えてリズムを作ってみる。 アンサンブルから生まれる音の重なりを楽しむ。
	7	・鑑賞 「春」	楽曲の雰囲気や、味わいを支えている音楽の諸要素を知覚する。 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴く。
2	9	・速度や強弱の表現の工夫と指揮	曲の味わいや特徴を支える速度や、強弱の変化の働きを感じ取り、指揮を通して表現の工夫をする。
	10	・合唱コンクールに向けた取り組み 声部の役割 曲の構成の理解 表現の工夫	自分の声に興味をもち、歌い方を工夫しようとする態度を身に付ける。 発声や発音の技能を身に付け、曲の雰囲気を感じ取って表現に繋げる。
	11	・鑑賞 「魔王」	詩の内容や場面の様子を想像しながら、曲想の変化や歌い方の違いに注目して聴く。 登場人物になりきって歌詞を表現し、詩に描かれている情景を感じ取る。
	12	・リズム 「ボディーパーカッション」	1学期の創作活動で学習した内容を活かし、リズムを身体で表現する。 目と耳を働かせて、友達と合わせられるようにする。
		・楽器の活動	音符や休符、音楽の諸要素等、学んだ知識を活かして読譜力を身に付ける。
	1	・箏にチャレンジ	日本に古くから伝わる箏の歴史や特徴を理解する。 箏の表現を味わいながら、特徴を活かして活動する。

3	2	・アジアの諸民族音楽 ・心通う合唱	アジア各地の音楽に触れ、そのよさを味わう。 歌詞の内容を味わい、その言葉を聴き手に届けるような歌い方を工夫する。
	3		

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能	実技テスト 定期考査
思考・判断・表現	授業への取り組み 振り返りカードの記入内容 プリントの記入内容 実技テスト 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み 振り返りカードの記入内容 プリントの記入内容